

震災復興に関する町内団体アンケートの集計結果 およびご意見ご要望に対する町の考え

●町では、震災復興に取り組むにあたり、被害状況の実態把握や意見収集のため、住民との連携が強いと考えられる町内関連団体を対象にアンケート調査を実施しました。

調査期間:平成23年8月26日 ~ 9月9日

調査対象:行政区をはじめとする町内159団体

調査内容:各団体の被害状況復旧復興について(質問1~質問4)

町の災害復旧復興に対しての意見等について(質問5~質問7)

※詳細については別紙参考資料をご覧ください。

提出団体数:64団体

●お寄せいただいた町の災害復旧復興に対しての意見、要望について、町の考えをとりまとめました。

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
1	全部一度に元通りにして行く事は無理なことなので、その順番を決めるのは大変なことと思います。人はそれぞれ我がままで、とにかく自分の周りが先によく行って行くに一生懸命になります。強い(大きい)声に気をとられず、判断はもっと冷静にかつ迅速に。	震災による町民の皆さんの生活に与えた影響をできるだけ早く取り除くことが必要と考えますが、関係機関等との調整、財政措置などの手続きが事前に必要となる場合があります。緊急性、重要性等勘案し、今後策定する復興計画に基づき透明性の確保された復旧復興に取り組んで参ります。	企画経営課
2	特になし(自分が災害復旧にあたってます)		
3	ライフラインの復興は割合、早かったと思う。	上下水道の復旧については、水道工事会社等の協力を得て、復旧に取り組みました。道路については、交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課 上下水道課
4	当事業所付近の被災は甚大であり、道路等の復旧状況に併せて取り組んだ。町の応急工事及びその他の迅速な復旧工事の取り組みに助けられました。心から感謝申し上げます。引き続き被災復旧取り組みが必要かと思ひます。適切な取り組みをお願いいたします。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
5	消防業務に直結するライフラインの早急の確保が進み、主要幹線道路の整備も徐々に進んでいるなか業務遂行の影響は殆どなくなった。	上下水道の復旧については、水道工事会社等の協力を得て、復旧に取り組みました。道路については、交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	上下水道課 都市建設課
6	1. 水道(上・下)の復旧には最善を尽くしていただき、ありがとうございました。丁度、1週間で水が水道から出たときには、本当に感激するとともに、水のありがたさを感じました。 2. 段差、亀裂等が多数生じた町道の修復については、大きな余震の発生の可能性もあったため、少し状況を観察していたことから、本格的な修復が3カ月くらい過ぎてからだったのでしょうか。通行量の多い場所については、余震による破壊があったとしても、ひどい所のみもう少し早めに復旧に着手された方がよいかわかります。	予想外の被害があり、修復資材調達に時間を要したため、復旧に時間がかかりました。今後は、復旧材料を確保し災害に備えます。 交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	上下水道課 都市建設課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
7	停電が短時間で済んだのは幸いでした。一方水道は長時間にわたり断水となり大変な苦勞がありました。無理を承知で申し上げますが、もう少し短期間で復旧していただければと感じました。	水道の長時間断水では、大変なご迷惑をおかけしました。今後におきまして今回の教訓を生かした復興事業を進めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。	上下水道課
8	道路については大所補修が進んでいると思います。末端、細部について今後ともよろしくをお願いいたします。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
9	役場職員のみな様の震災対応については、よくやって頂いたと感じております。	ありがとうございます。お言葉に負けないよう、今後も職務を遂行します。	町民生活課
10	道路の整備、中町角元矢吹デパートの早い撤去。	二次災害及び危険性回避のため、倒壊の恐れのある建物の解体が完了し、安全性が確保されるまでの期間は、通行止めを継続せざるおえない状況でありましたが、解体工事が終了し、交通規制も解除しました。	都市建設課
11	大変良くやっている	ありがとうございます。お言葉に負けないよう、今後も職務を遂行します。	町民生活課
12	これまでも大変お世話になっておりますが、来春までの事業完了、通水再開に向けて、今後ともご協力の程、よろしくお願い致します。	羽鳥用水パイプラインについては現在国の直轄事業として復旧に取り組んでおります。水田農業は本町にとって基幹産業であると同時に景観を形成する上で重要な役割を有しておりますので、来春への作付へ向けて通水が可能になるよう国に対しても要請を重ねて行います。	産業振興課
13	1. 主要幹線道路以外の道路の早期修理	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
	2. 農業用水の早期復旧	羽鳥用水パイプラインについては現在国の直轄事業として復旧に取り組んでおります。水田農業は本町にとって基幹産業であると同時に景観を形成する上で重要な役割を有しておりますので、来春への作付へ向けて通水が可能になるよう国に対しても要請を重ねて行います。	産業振興課
	3. 学校校庭内の汚染された土の処分	中間貯蔵施設等の受け入れ施設が整備されたい搬出を行う予定です。	学校教育課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	4.「あゆり温泉」の早期復旧	あゆり温泉は、震災で被災した施設や設備等を復旧するため、現地調査と復旧工事にかかる設計を完了し、復旧工事の発注を行いました。11月25日営業再開予定です。	保健福祉課
14	大変良くやっている	ありがとうございます。お言葉に負けないよう、今後も職務を遂行します。	町民生活課
15	道路復旧が迅速に行われ良かった。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
16	委員会は全員農家ですので、羽鳥用水路の完全復帰を実現して、来年には安心して作付け出来るようにお願い致します。早期に支線まで点検してください。	被害報告等を所有者や施設管理者から受け補助災害の査定がほぼ完了し、急ピッチで復旧作業を進めています。手続きを行って鋭意復旧に努めております。	産業振興課
17	皆、それぞれの立場でがんばっていたと思う。	ありがとうございます。お言葉に負けないよう、今後も職務を遂行します。	町民生活課
18	商店街の被害も甚大だったと思う。できればそのままの復旧ではなく、明るい未来が期待できるような商店街を作ってほしい。	空き店舗、空き地の利活用を含め「人々が集う街並みづくり」をコンセプトに、商店主、商工会、NPO法人等、町が一丸となって震災以前より良い商店街づくりに取り組みます。	産業振興課
19	道路状況、危険個所の対応等、迅速に対応していただいたおかげで、学校教育活動が思ったより早く再開できた。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
	町、教育委員会、消防団等関係機関に感謝いたします。	ありがとうございます。今後も職務を遂行します。	町民生活課
20	復旧については、出来ることはしてきてると、見受けられます。復興、復旧支援については、言えばキリがないでしょうし・・・	復旧復興を進めるにあたってはより多くの町民の皆さんの意見を伺ってまいりたいと考えておりますので、今後とも機会があればご意見をいただけるようお願いいたします。	企画経営課
	道路の補修や建物の取り壊しなどで、町も復旧してきたと思いますが、今後は取り壊しなどで商売が出来なくなった方々への支援が必要かと思えます。	事業者特に中小事業者に対し、国県の制度の積極的活用と保証料補助金制度により支援をいたします。	産業振興課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
21	道路等の復旧が遅い。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
	校庭の表土除去のスピーディーがOK。	町建設協力会等関係機関の協力により早期に完了できました。	学校教育課
	工事業者の発注を平等にして欲しい。(偏りを感じた)	町では、公共工事の入札・契約について適正性、公平性が図られるよう入札制度の見直しを随時行っております。災害発生時の対応については、迅速に応急対応・復旧を行うため、競争入札による執行ではなく、随意契約による執行を行いました。	総務課
22	表土を削る対応は良かったと思います。(幼稚園)	町建設協力会等関係機関の協力により早期に完了できました。	学校教育課
	道路がまだ復旧されていないので早急に対応頂きたい。町道以外も町から呼びかけて頂きたい。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。 国道、県道に関する要望については、随時、国、県に要望してまいります。	都市建設課
23	災害復旧について町の方は、実際にどのようにどこまで進んでいるのかあまり知らないのではないのでしょうか。	災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。	企画経営課
24	指定管理者として文化センター・ふるさとの森を受託していますが、ふるさとの森については、玄関のガラスが破損したものの早急に対応していただいた。その他の箇所は今後。 文化センターについては反響板の破損は復旧。しかし、大ホール小ホールの天井落下部分の復旧予定は担当課に聞いても未定とのこと。	文化センター・ふるさとの森芸術村をはじめとして町の社会教育施設・体育施設について大きな被害を受けました。国庫補助事業の災害査定を受け計画的な復旧に努めておりますのでご理解願います。	生涯学習課
25	震災後、役場の職員の方々の献身的な住民への対応に頭が下がります。休日も返上し、夜間もいとわず仕事に励み、自らも被災者でありながら、公務に、支援活動に専念する姿に感激しました。感謝申し上げます。	ありがとうございます。今後も職務を遂行します。	町民生活課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
26	原発放射線量値についても、こちらから情報収集をしなければ当方からの発信はないようであった。	放射線量測定結果について、ホームページでの公表を行いました。インターネット未利用者に対する情報発信について、更に早い段階から考慮し防災無線の活用を実施すべきでした。今回の災害経験踏まえ、原子力災害対応、緊急時の情報伝達手段について地域防災計画への反映を行います。	町民生活課
	道路の復旧があまりにも遅すぎた。又、施行も上手に行われているとは思えない。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
	下水道部分の陥没が多かったのは地盤の悪さではなく下水道工事の施工の悪さに起因しているのではないのでしょうか？責任施工管理監督がしっかりしていない。	当町は、地下水位が1・5メートル程度と比較的高く、液状化現象が発生したために被害が大きかったことがわかりました。今回の被害状況を検証し、復旧の際には、従来の施工法を改良し、復旧工事を行います。	上下水道課
27	限られた人と物の中で、対策本部を中心として懸命に努力してきたのではないのでしょうか。特に、震災直後の際には、避難所の設置、支援物資の配布、給水車の手配、ボランティアの指揮等に、多分、自分自身の家も被災したにも係わらず不眠不休で頑張っていた姿には、頭の下がる思いがしました。また多くの町民が同じ思いをしたと思います。	ありがとうございます。今後も職務を遂行します。	町民生活課
28	震災で判明したさまざまな弱点を整備しておくことが大切であろう。対策について工程表を作成する。	今回の災害はかつて経験したことのないものであり、大きな教訓と課題を残しました。災害が発生した場合には、被害を最小限に抑えるために応急対応基準、体制等のソフト面と耐震性等のハード面の整備が必要です。地域防災計画を始めとする防災に関する計画等の見直しにより防災機能、防災基盤の強化を図ります。土地利用、都市計画等の全体的な町土利用についても災害に強いまちづくりの視点からの見直しの検討を進めます。	町民生活課
29	多くの災害を受け、町としても大変なことと思います。主要道路等の復旧もある程度着手されていますので、ご苦労様です。頑張ることができるだけ早く復旧が終了することを願っています。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
30	①広報で町への(災害)ボランティア募集を年に2回ほどされてはどうでしょうか。②社協の便りに載っていますが発行回数が少ないので上記で	災害ボランティア限定とせず、多様なニーズに応えるための多様なボランティアについてネットワークづくりを行っていますので、特集を組むなどの広報掲載をします。災害時には社会福祉協議会にボランティアセンターが設置され、活動をいたします。募集については必要に応じて行政、社協、ボランティアセンター連携して実施いたします。	保健福祉課
31	災害があまりに広範囲に及んでいるにもかかわらず復旧は早い方だと思いますが、学校関係道路は早く復旧して頂けたらありがたいです。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
32	農家なので水路の普及も早くお願いできたら、うれしいです。	来年度できるだけ作付ができるように努めております。	産業振興課
33	おおむね良好だと思います。	早期復興を目指し、今後も職務を遂行します。	町民生活課
34	町民の生活向上のため、日夜苦勞されていますこと本当に御苦勞様です。職員の健康には十分に気を付けますよう。	矢吹町職員安全衛生委員会等の活動により職員の健康管理に努めます。	総務課
	町民に出来ることと出来ないことを情報とし流し理解をしてもらうことは大切です。気が軽くなります。	防災情報伝達のマニュアル化を検討します。	町民生活課
35	おおむね順調に進んでいると思いますが、私たちが見えるところでは、道路の復旧をもう少し早めに進めて頂きたいと思います。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
36	災害復旧を水道管補修や道路の復旧工事等と狭義に考えるなら、役場職員の不休による災害支援と復旧活動に対し、ありがたく感謝申し上げます。しかし、災害直後の初動については、二区自治会～町役場間で一部問題があった事から、反省材料の1つとしてお聞きいただきたい。	がれきの仮置き場設置等の初動体制については、今回を反省材料とし、矢吹町地域防災計画の見直しを行います。今後、災害が発生した際に適切な応急対応が行えるよう、計画の有効性を十分に検証します。	町民生活課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	<p>町は過去にどのような災害を想定していたのか？昨年9月か10月に防災訓練を小池周辺や役場駐車場で大掛かりに行っていたはずだが、この訓練成果と防災マニュアルは今回の震災時に生かされたのか？</p> <p>また、総括本部(情報管理広報)班、救援救護班、復旧対策班がそれぞれ機能的に活動出来たと思うが総括したのか</p>	<p>矢吹町地域防災計画を基礎とし災害被害の把握、防災訓練等を実施し災害時の対応を訓練していました。しかし、今回の大震災では訓練した内容以外の対応(避難所の警邏、給水、主要道路の交通閉鎖、仮設トイレの設置・給水、老人一人世帯の屋根補修、石塀の撤去等)が有り、長期間に渡る災害対応が必要でした。東日本大震災の反省を検証し、防災マニュアルについて今後の皆様の意見を参考に見直しを進めます。</p> <p>町では、災害対策本部を設置し、本部会議での方針決定のもと災害対応を行いました。</p>	町民生活課
	<p>1. 震災翌日からの給水活動では何故役場駐車場だけで行ったのか、高齢者で車の無い町中の住民は片道2kmの距離の往復は無理。(断水地域に給水車を回せなかったのはなぜか→要請後、当区のみ緊急水道施設が出来、TV報道もあったが)</p>	<p>被害調査による人命の救助が優先順位の最初であり、限られた団員数で六千世帯の調査をすませ、応急復旧及び老人一人世帯の避難所搬送及び避難所給水等があり、地域の給水には時間を要しました。今後の災害に備えて体制を整備します。</p>	町民生活課
	<p>2. 瓦礫の保管場所指定と対策は初動で間違っていなかったのか。</p> <p>①当自治会では、分別投棄を標記した看板を立てて監視したが、秩序が保てたのは一地域のみで、他の地区の閉鎖が相次いでからは、当区への夜半投棄が頻繁となり無残な置き場に変貌してきた。そのため、区民の苦情を契機に担当課と協議し閉鎖に至っている。(個人的には鏡石の分別集積を評価一次のため、担当課へは現況視察の写真と現場に駐在していた職員との面談情報を伝言済み)</p>	<p>がれきの仮置き場設置等の初動体制については、今回を反省材料とし、矢吹町地域防災計画の見直しを行います。今後、災害が発生した際に適切な応急対応が行えるよう、計画の有効性を十分に検証します。</p>	町民生活課
	<p>3. 今回の震災で区民が一番困ったのは、町からの情報提供の無さにあった。唯一の情報伝達手段の防災無線は、二区自治会内では聞こえず情報過疎地域となり給水場所さえ皆無だった。</p> <p>①メンテナンス不備と防災無線頼りの広報欠陥を露呈していた。</p>	<p>緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。</p>	町民生活課
	<p>②広報車の巡回や号外広報等の作成(用紙フリー)で、町民への情報発信を行うべきではなかったか。号外広報は「印刷会社が被災し印刷が出来ないからしょうがない」ではなく、「早くなんとか知らせなくては」ではないのか。</p>	<p>災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。</p>	企画経営課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	③震災後、市町村単位で避難場所や生活情報がTVのテロップで流れてたが、矢吹町は流れて無かった。(クレーム後、改善)地域医療についても同様に薬の確保や開業している医者、食べ物や修理道具の購入、食堂の開店状況など地域情報は何でもいいから知りたい状況にあったにも関わらず、町からの情報提供は無かったがそれはなぜなのか。自己判断・自主行動は理解できるが、この様な場合の生活情報提供は必要ではなかったのか	災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、さらに情報媒体の拡大などの確かな情報提供に努めます。また、TV、新聞等の報道は各社の電話取材が主であり、震災からしばらくの間は役場本庁舎の電話回線が普通となったため本町関連情報の報道が少なかったものと思われま。今後は複数の通信手段の整備など検討します。	企画経営課
	④震災後、余震が多発していたが、TVの震度情報に当町は出て無かったのは何故か、これもメンテナンス不備なのか(泉崎村や中島村、鏡石等近隣町村の震度は都度TVに出ていたため疑問…クレーム後改善報道された)	矢吹町設置の震度計について、震度計設置者である福島県へ調査を依頼しましたが、正常であるとの見解でした。震度情報につきましても県で一括した管理がされております。	町民生活課
	4. 3.11のような事態の時の医師会と町との協議の場はあったのか、いざという時の病院はどこなのか。 ①被災者の救急搬入病院はどこか、町内の医師会にて重大災害時に呼応した医療体制が作られているのか	災害時に的確に迅速に対応できる医療機関の把握及びすみやかに町民へ情報提供を行う体制を検討します。 現在町内に医師会はなく白河医師会として対応しています。なお、二次救急医療機関である会田病院が大きな被害を受けたため他町村の救急医療機関の協力により対応いたしました。	保健福祉課
	4.②入院患者がいる病院は、患者を安全に避難させる場所や透析患者の為に水の確保(一人一回2ℓ?)、移動用の車両や暖房用燃料等の確保、食料の自前確保等が急務となるが、情報提供や支援はこの様な場合でも不可能なのか	今後、医療機関との協議を進めます。	町民生活課
	5. 湖底や携帯不通時、地域と町の情報のやり取りが出来ず、都度マイカーでの役場訪問～確認～区民への伝達だったが、行ったり来たりの移動時間を短縮するため、通信手段の対策が必要であった。	矢吹町防災行政無線のデジタル化による機器の更新で放送用途を増やすことを検討します。	町民生活課
37	道路の路面補修が進んで良い。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
38	災害で出る瓦礫の仮置き場が確保されて大変良い。	災害対応に関する事業として、ガレキ処理事業を実施しました。放射能災害の影響のため、処理が進められない状況ですので、一刻も早い方針の決定を国や県に要望してまいります。	町民生活課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
39	水道関係は復旧されたが、道路関係は一部手直しされているが、まだまだ完全とは言えない。通行止めの箇所の早急な回復を望む。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
40	道路の狭い所の補修が遅れている。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
41	道路舗装の仮復旧についてですが、栗崎時計店以南のリオンドール前の所がまだ復旧されていないのですが、毎日買い物で使用されるような道路は最優先で復旧されるべきではないか。	10月中旬から来年2月にかけて災害復旧工事を実施します。	都市建設課
42	道路は陥没の連続で、また歩道は碎石のため歩きにくく、安全な歩く道路にはなっていない。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
	また消防建物についての負担金だが、お金の無い地区に負担させることが理解できない。 町の消防という認識が薄いし、震災の特別措置として早急にお金の面、建物を完遂させて欲しい。消防車は野ざらしの為、サビが入っている。	国の消防設備災害復旧支援補助金により、消防施設の負担金軽減措置で対応します。	町民生活課
43	水道の断水、	予想外の被害があり、修復資材調達に時間を要したため、復旧に時間がかかりました。今後は、復旧材料を確保し災害に備えます。	上下水道課 都市建設課
	道路補修などの対応が遅すぎる。早く対応してください。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
44	一日も早い災害復旧に日夜努力していることについては感謝を申し上げます。 しかし、5ヵ月過ぎても手付かずの丸の内工業団地の片側通行や田内、天栄	平成23年度末までに、完了する予定で準備を進めておりますので、ご理解願います。	都市建設課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	また、町民いこいの場としても町民の健康増進施設であります。あゆり温泉など未だに利用できないのは一体何をやっているのだと言いたい。町内の業者が忙しくて出来ないのなら他市町の業者でもいいから一日も早く再開出来るようにしていただきたい。	あゆり温泉は、震災で被災した施設や設備等を復旧するため、現地調査と復旧工事にかかる設計を完了し、復旧工事の発注を行いました。11月25日営業再開予定です。	保健福祉課
45	大旨適切であったと思う。ただ給水ヶ所が各区毎にあったら老人、又は自動車の無い人は助かったのでは無いか。	今回の経験を踏まえ給水方法について消火栓の利用等を検討します。矢吹町地域防災計画に反映します。	町民生活課
46	全体的に遅い。 大きい道路はすぐ直しても通行量の多い裏通りの補修が遅かった。また中町の円谷呉服の前もいまだに通行止めで不便で困っている。	今回の災害はかつて経験したことのないものであり、大きな教訓と課題を残しました。災害が発生した場合には、被害を最小限に抑えるために応急対応基準、体制等のソフト面と耐震性等のハード面の整備が必要です。地域防災計画を始めとする防災に関する計画等の見直しにより防災機能、防災基盤の強化を図ります。 交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。 二次災害及び危険性回避のため、倒壊の恐れのある建物の解体が完了し、安全性が確保されるまでの期間は、通行止めを継続せざるおえない状況でありました。現在、円谷呉服店の解体工事が終了し、交通規制を解除しました。長い間ご不便をおかけし、大変申し訳ありませんでした。	町民生活課 都市建設課 町民生活課
47	地域で持っているものは、地区で修理しなくてはならないので、予算の補助等出して頂きたい。	基本的に地区の所有物は地区での対応となりますが、地域の方の労力等で修繕出来ないものについては今後助成等を検討します。	総務課
48	※部落前の川の件 当地区は、大信と天栄の境に有るため、被害の調査をしてもらうのに大変苦労しました。川は矢吹地区に入り、山の方は白河地区(大信)に有り、又、パイロット事業なので東北農政局が入っているため、苦労しましたが、なんとか仮水路を作ってもらい当地区民が田んぼを作れるようになりました。他の町村に隣接している地区は、こんな事が大変でした。	今後とも、スピード感をもった事業推進に努めます。	産業振興課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
49	復旧箇所が多い中、復旧工事が着実に進んでおり、心強く思います。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課 上下水道課
50	他の自治体にくらべると対応が遅い	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。	企画経営課
	放射能に対する対応など	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付け、長期的な取り組みを実施します。	町民生活課
	道路の補修	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
51	自宅も大規模半壊でした。見慣れた街並みがすっかり変わってとても不安と悲しみがありません。いろいろと役場での手続きもありましたが、職員の方、又、三鷹市からのボランティアの職員の方もとても親切でした。手続き等も丁寧に教えていただき有難かったです。	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。被災者生活支援につきましては、三鷹市を始めとする全国の自治体、そして、多くの団体、個人の皆さんからのご支援、ご協力をいただき応急復旧を行うことができました。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いします。	企画経営課
	栄町通りの道路が段差があって自転車、車も危険だという住人からの連絡があり、役場に連絡したところ、次の日には修復していました。ありがとうございました。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
52	遅すぎる。	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。	企画経営課
53	一人暮らしの援助が遅い、	地域防災計画全体を見直す中で、要援護者の支援を具体的に検討します。民生委員による要援護者の把握に努め、緊急の災害時に初期対応を速やかに行う体制を検討します。	保健福祉課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	区長として対処がどこまで行って良いか分からなかった。	災害時の初動対応のあり方については今後検証し、矢吹町地域防災計画等への反映を検討します。	総務課
54	対応が遅い(町主要道路が未だに通行止)	中町付近の町主要道路の通行止の件では、通行者・商店・周辺住民の方々へ多大なご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。二次被害及び危険性回避、町民の安全を第一に事業を実施しました。今回の震災の経験を踏まえ、迅速かつ適切な災害対応が行えるよう地域防災計画の見直しを行います。	町民生活課
	農道町道県道の崩落状態が手付かずの状況(特に田内、柿の内方面)	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
	町内全域崩落した住宅の取り壊しを速やかに行う	震災により大きな被害があった建物について、所有者との調整を図り、通行者や周辺住民の安全性の確保に努めます。中町の旧矢吹デパートについては、二次被害及び危険性回避のため、通行止め・迂回路建設を行い、所有者と交渉の上解体事業を実施しました。今後二次被害の可能性がある建物の解体については、復興計画に位置付け、事業に取り組めます。	町民生活課
55	水道の復旧は早く対応された。	町職員OBの方や水道工事会社の協力を得て、早急な復旧をすることができました。	上下水道課
	道路の陥没害及び大きな地割れの応急手当てに業者の協力を得て取り組んだことが良かった。しかし、まだ危険個所の表示を早くして欲しい。	立看板等を使用し、道路被災状況について分かりやすく案内するよう努めます。	都市建設課
56	水道の災害復旧が日数掛かり過ぎ	予想外の被害があり、修復資材調達に時間を要したため、復旧に時間がかかりました。今後は、復旧材料を確保し災害に備えます。	上下水道課
57	3月11日以降半年が経とうとしています。それなりの復旧は行っていると思いますが、その仕事内容が見えないので、内容が見えるように発信をして欲しい。	災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。	企画経営課

No.	5.町の災害復旧に対する意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
58	中々むずかしい事で有る昔の様に働く場所が有ればの事で子供若い人が少なくて老人が多い現在で有るが自分たちも子供は大東亜戦争で子供たちに大変だった親になるべく苦勞かけまいとなんでもゆずり物教科書までゆずり物親はえらいたいしたもんだと感心した時代も有った終戦後はどんどん東京へと就職した小学校卒業して上京してった人もそして旗あげた人が多い苦勞したと思うけどそう・したと思う現在は無理だと思う若者が少ない金なければ何にも出来ないから長くかかると思う	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願ひします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの経費が必要となりますが、多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。	企画経営課
59	資材、人手不足等で工事に入りたくとも入れない状況が続き、遅くなっていることには十分理解できるが、町の中の通行止、道路の凹凸や段差部分については早急に復旧して欲しい。ビルの解体等については遅くなっている現状を説明すべきと考える。 仮設について建てれば良いというものでもないと思う。空室になっているところもあると聞いている。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。 旧矢吹デパートの件では、通行者・商店・周辺住民の方々へ多大なご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。ビルの解体については、所有者の了承が必要です。町から所有者へ協力依頼を行いました。両者の合意が得られるまでに時間を要しました。行政情報、緊急情報等提供について、総合計画や復興計画に反映します。 仮設住宅は需要に見合った戸数が建設されていて現在空室となっているのは就職等に伴う退去によるものです。適正な管理に努めます。	都市建設課 保健福祉課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
1 町内の各界の専門家やそれと思われる方全員を集めて、科学的に原因—対策—方向—をまとめ上げ、この矢吹ならではの災害に強い具体的な計画を作成することが一番かと思えます。	より多くの住民意見を反映し、矢吹町地域防災計画の見直しに反映します。	町民生活課
2 主要道路を先行して本復旧してほしい。 子供達が安全に通行できる様、車道優先ではなく同時に歩道復旧も急いでほしい。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
3 町内において復旧もこれからかと存じます。町の適切な指導等も望まれるかと思えます。よろしく願いいたします。	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしく願いいたします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの経費が必要となりますが、多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。	企画経営課
4 自然災害に強い町づくりを目指して災害復旧が図られればありがたいです。	今回の災害はかつて経験したことのないものであり、大きな教訓と課題を残しました。災害が発生した場合には、被害を最小限に抑えるために応急対応基準、体制等のソフト面と耐震性等のハード面の整備が必要です。地域防災計画を始めとする防災に関する計画等の見直しにより防災機能、防災基盤の強化を図ります。土地利用、都市計画等の全体的な町土利用についても災害に強いまちづくりの視点からの見直しの検討を進めます。	町民生活課
5 危険な建物が町民の通行に支障をきたし、持ち主では無理な場合は町で統一を。 下水道マンホール付近の整備を早急に。	国の補助事業(災害廃棄物処理事業)を活用し、被災家屋の取り壊し費用の一部を補助し、取り壊しを促進して住民の安心安全の確保と環境整備を推進します。居住環境の整備については、復興計画に事業を位置づけ、取り組みます。 国の事前審査が終わり、これから下水道本管の復旧工事が始まりますので、ご協力をお願いいたします。	町民生活課 上下水道課
6 補償や整備の充実	今回の震災に対しては、原子力災害に対する補償、公共施設の整備、被災者生活の再建など復旧に取り組みますが、さらに震災以前以上の活力あるまちとなるような復興を目指したいと考えています。	企画経営課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
ホットスポットの除染	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付けます。	町民生活課
7 震災前より良い形にするよう期待する	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの経費が必要となりますが、多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。	企画経営課
8 農作物の風評被害への対応。 ほ場の線量測定等(水質調査等は改良区で実施するがほ場については関係市町村の協力が不可欠である。)	農地等の線量測定等については、県消費・安全対策交付金を活用し測定機器の導入と実態調査等を進めてまいります。	産業振興課
9 災害時の速やかな避難。物流が出来る為の幅員の大きな道路を出来るだけ多く作ってほしい。	町の道路計画及び地域防災計画に基づき、計画的に道路改築を進めてまいります。	都市建設課
10 放射能汚染への対応(風評被害、能残物の安全性取り組みetc.)	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付けます。 農作物のモニタリングについても、測定機器の貸与申請を行っております。また、消費地等に向けた風評被害防止のためあらゆる機会を活用しPR活動を推進いたします。	町民生活課 産業振興課
11 観光整備	昨年FCTが主催で開催された「福島ゆるキャラコンテスト」で見事初代グランプリを獲得した町商業振興公社「やぶきくん」を町のPRキャラクターとして位置付けし、町内外の観光イベント等にて町特産のPR販売や観光PRを行うとともに、町ブランドの制作・策定を行うなど産業振興を図ります。	産業振興課
12 1. 原発被災地の企業並びに住民が矢吹町へ定住出来るよう取り組む。	双葉地方にあった事業所が被災した仕事と従業員の受け入れを積極的に推進しました。引き続き企業の受け皿として空き工場等のあっせん等を推進します。	産業振興課

No.	6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	2. 建物解体で街並みが大きく変わったので、都市計画を再構築し未来への街創りを進める。	全町的な検討課題です。今後、都市計画をはじめ、復興計画やまちづくり総合計画等へ反映します。	町民生活課
	3. 災害復旧の基本原則(現状普及)を見直し被害の基本的要因を徹底的に分析し復旧計画に反映させる。	被災した箇所については、原型復旧が基本となりますが、構造上の要因を含めた点検作業を行い、改善すべきところは見直しを図ります。	都市建設課
13	地震とは関係ありませんが、生活道の舗装はなんとかありませんか。 中丸地区 3路線 東川原地区 2路線	生活道路の舗装工事につきましては、今年度は災害復旧優先という観点から実施は厳しい状況ではありますが、次年度以降計画的に生活道路の舗装工事を進めてまいります。	都市建設課
14	既存の道路など、生活に直結するものは、とにかく早く復旧して欲しい。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
15	①施設設備の回復も重要だが、子どもを放射線からどう守るかということについては、未知の部分が多く、保護者も不安を感じている。是非、町から県・国に明確な指針(安全性や危険性、今後の対応等)を示すよう働きかけてほしい。	国、県からの情報を広告紙や町ホームページに掲載します。現在は緊急事態期の暫定基準値の下対策がとられていますが、少しでも早く平常時の基準値年間1ミリシーベルト以下とする対策をとるよう要請してまいります。	保健福祉課
	②先日、町消防団のご協力により、校舎の洗浄をして頂きました。そのときに気付いたことですが、校舎近くに消火栓がありませんでしたので、設置していただければ非常に助かります。	消防水利の見直しに反映し、消火栓の整備について検討します。	町民生活課
16	「災い転じて福となす」復興、復旧していく中で、それぞれがわがままを言うのではなく、この機会に町が一つになれるような標語を掲げ、災害前の問題解決にもつなげ、本当の地域の繋がりを持てるようになって欲しいです。	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの経費が必要となりますが、多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。	企画経営課
17	子供達の行動範囲内の定期的な除染対策。	定期的なモニタリングを実施し、正確な情報に基づき放射線低減化活動の推進を行い、子どもをはじめ町民の安心安全の確保に努めます。	町民生活課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
モニタリングポストの設置とその情報の管理。	国(文部科学省)によりすべての学校・幼稚園・保育園の校庭等にリアルタイム放射線監視システムモニタリングポストが設置されます。観測結果はインターネットで公表されることになっております。	学校教育課
18 道路については雪が降る前に対応していただきたい。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
放射線対応を万全にしていいただきたい。雨どい等水が集まってくる場所や高い数値のところは繰り返し除染してほしい。	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付けます。	町民生活課
19 これからは放射能対策にもっと力を入れてほしいです。	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付け、対策の強化を図ります。	町民生活課
20 文化センター等は、町の教育・文化・芸術の窓口になる。重要な施設・町内外の利用者に気持ち良く使ってもらい、町のイメージアップを図るにも早急に復旧されることが望まれる。	文化センターをはじめとして町の社会教育施設・体育施設について大きな被害を受けました。国庫補助事業の災害査定を受け計画的な復旧に努めておりますのでご理解願います。	生涯学習課
21 文化施設の復旧と文化活動復興、沈んだ心、幾分かすさんだ心の健康を取り戻すための支援が必要かと思われまます。町づくり(ハード面の復興)と同時に人づくり(ソフト面での復興、ケア)が今こそ必要かと思ひます。	町では文化の振興や交流の活性化などについて、矢吹町まちづくり総合計画にも位置付け、様々な事業を展開しております。今回の震災を機に「人と人の支えあい」の重要性を再度認識したところでありますので、効果的な支援が行えるよう矢吹町まちづくり総合計画後期計画の見直しに反映します。	生涯学習課
22 すみやかな対応を求めると同時に情報を提供して欲しい。	災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。	企画経営課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
役場職員の対応に差があり過ぎる。職員教育が必要では…	町民の視線に立った対応に努めるため研修等による職員教育を図っていきます。	総務課
23 未曾有の大震災のため、どこから手をつけていいのか解らない状況だったと思います。緊急性の高い、そして、住民の皆さんの要望が多い所から手をつけてきたとは思いますが、先ずは震災前の状態に戻すことだと思います。但し、放射能は別次元で考えなければと思います。原発もいまだに収束もせず、本当の事は誰も解らないことであれば、当然のことながら、国、県の指導の下に、慎重に対応せざるを得ないと思いますが、その対策が後手、後手にならないようしなければと思います。	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの経費が必要となりますが、多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。	企画経営課
24 緊急復旧と恒常的復旧を厳密に区分して緊急工事については事後、見直しを行うこと。	震災直後は、通行の確保を優先に考え、応急措置として砂利の敷きならしを行いました。以後、交通量、危険性の度合いを考慮しながら、舗装による路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
復旧工事等については、施工過程を職員が監督して欲しい。 広報(放送)の難聴区域を精査し改善して欲しい。	各工事において、監督職員を配置し対応しております。防災情報の発信機器の更新、個別受信機の導入等を検討しています。今回の震災における反省を踏まえ、緊急時に正確な状況提供が出来るよう、防災行政無線の運営について再検討します。	都市建設課 町民生活課
25 町中の商店街について、今、円谷呉服店のビルが解体されて、又道路が通行止(う回路はあるが)。メイン商店街も今回により多くの被害を受け、解体された建物もあります。将来の商店街を考慮しても、今回の危機もチャンスと考え、区画整理等の事業を行い、商店街の再編成をし、又、町づくりとして集約するようにして、活性化できる方法が考えられないのか？行政が引っ張っていくことが出来ないなら、商工会又は民間の力を借りて、方向付、まちづくりを行ってはいかがですか？	ご指摘のとおりであり、現在商工会において特別委員会を設立し商工会としての「復興ビジョン」を策定しておりますが、それらを包含する町の将来を見据えた「商業まちづくり構想」を策定し将来の市街地の在り方やショッピングエリアの整備計画を樹立します。	産業振興課
26 住民が一番集う公民館は、一日も早く復旧して頂けたらありがたいです。(皆さんの心のよりどころでもあると思うので)日赤の方で何かお手伝い出来ることがありましたら、少しでも役に立ちたいと思っております。	中央公民館・中畑公民館をはじめとして町の社会教育施設・体育施設について大きな被害を受けました。国庫補助事業の災害査定を受け計画的な復旧に努めておりますのでご理解願います。	生涯学習課
27 小、中学校の生徒たちの通学路(放射能)の再点検。	随時学校等と連携し通学路の状況を把握し安全な通学路の確保に努めます。	学校教育課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
③恐らく国や県は、当町は生活に支障が無いレベルの土壤で低線量地帯として放置されるであろうから、線量の多いスポットをくまなく見つけ出し、地図化してから県に訴え土壤の処理対策は、そのあととした方がベターである。(県の町内会への助成金を活用し、線量計を限度額分確保し、個人住宅周辺を含む広範囲の詳細データを把握すべき)	矢吹町の放射性物質汚染について、国や県、東京電力にきちんとした対応をとってもらえるよう、町内の放射線量データを記録するとともに、要望活動を行います。 また、約50台の貸出用線量計を用意致しましたので、更に有効な活用法について検討してまいります。	町民生活課
3. 震災後、土地の物納や寄贈等も多くなるかもしれないが、今後、私道などで寄贈の申し出があった場合は、「維持費が大変なので」とか「基準値に満たない」等と拒否せず、町100年の大計から断らず必ず受け取って頂きたい。 * 過去に町当局と地主間のトラブルが元で、道路の拡幅や未舗装区間整備の都度、話がこじれて容易にできない所があるという現実をご認識頂きたい。	道路の寄附については、公道から公道へ接続していることなどの条件があるため、申し出がある場合は、調査を実施し、受納について個別に判断しております。私道の整備について町が補助する制度もありますので、状況に応じ対応してまいります。	都市建設課
31 あゆり温泉の早急なる復旧を望む。家の中に、閉じこもりストレスが溜まる。	あゆり温泉は、震災で被災した施設や設備等を復旧するため、現地調査と復旧工事にかかる設計を完了し、復旧工事の発注を行いました。大変長らくお待たせいたしました。1月25日に営業を再開予定ですので、どうぞご利用ください。	保健福祉課
32 原発関係は早急に収束させることが災害復旧の道筋である。風評被害を無くす。	加害者責任で十分の保証をする事は当然であります。町としても風評被害を防止・払しょくするためあらゆる機会を通してキャンペーンに努めており、今後も継続した取り組みを行います。	産業振興課
新町集会所を早急に建てて欲しい。	今年度中に実施設計を行い、来年度に建設を予定しております。また、新町集会所の再建については、復旧事業として復興計画に反映します。	総務課
33 今回の地震で瓦の落下、ブロック塀の倒壊が多かった。避難中にブロックの下敷きの可能性もあり、これから作る物に関しては高さを制限すべき。	高さ2mを超える擁壁については、確認申請が必要な工作物であると建築基準法に定められております。建築基準法を基本とした指導を図ってまいります。	都市建設課
34 中町の通りが隣接する民家一軒の為に、通行止めになり、沿線の商店が瀕死の状況になるような状況を考えると、この際、都市区画整理事業を立ち上げ、停車帯、歩道を含んだ、都市計画道路を整備し仙台市のように、未来に余裕のある都市作りをしたらどうか。	二次災害及び危険性回避のため、倒壊の恐れのある建物の解体が完了し、安全性が確保されるまでの期間は、通行止めを継続せざるおえない状況でありましたが、解体工事が終了し、交通規制を解除しました。 また、通行止め規制をした道路につきましては都市計画道路としての位置付になっており、全幅員10mの規制(セットバック)になっており、今後は、都市計画道路の見直し、更には、都市計画(まちづくり)についての見直しを行ってまいります。	都市建設課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
35 大和久地区東は被害が多いため、負担金等の要望をしないで欲しい。消防の建物はすべて町で遂行、貫徹することをこの紙面を借りて再度お願いする。	各地区の消防施設については、行政区の管理下であり、改修費用も全額負担となっております。しかし、今回の東日本大震災の災害規模の大きさから、国費・町費の補助により行政区の負担の大幅な軽減を図っていますのでご理解をお願いいたします。	町民生活課
36 インフラ整備はもちろんですが、被災者の切実な要望は住宅本位の改築や修繕であります。全壊や半壊はありますが、一部損壊は何も支援がないので、町が一番先に(住宅)に支援すべき。耐震化や老朽化対策、バリアフリー化に支援すべき。災害復旧は町が一方向的に進めるのではなく、住民参加で進めること。	一部損壊住宅の修繕工事についての助成制度を11月より実施します。被災者生活再建の支援の一環として復興計画に位置付け、居住環境の復旧を図ります。耐震化やバリアフリー化については、矢吹町まちづくり総合計画に位置付け、支援事業に取り組んでまいりましたが、今回の震災の影響も踏まえて見直しを行います。	都市建設課
37 矢吹町では水による被害が少ないので問題がないが、旧4号線通行止めを早く解決してほしい。	二次災害及び危険性回避のため、倒壊の恐れのある建物の解体が完了し、安全性が確保されるまでの期間は、通行止めを継続せざるおえない状況でありましたが、解体工事が終了し、交通規制を解除しました。	都市建設課
原発問題は大変心配であり、1、2号原発共に廃炉にする様、県民全員の声을あげるべきであり、矢吹町議会でも廃炉決議して国、県に積極的に意見を陳べるべきである。	平成23年6月定例議会において、子どもたちに長期的な健康モニタリングと定期的な健康診断の実施を求める意見及び原発事故の早急な収束と県内すべての原発廃炉を求める請願並びに東京電力福島第一原子力発電所事故に関する陳情を採択し提出しております。	議会事務局
38 放射線対策、細かな除染(土地、山林、植物等)	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付けます。	町民生活課
39 何よりも全町すべての道路の100%の復旧と	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
除染作業を早く行い、	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付けます。	町民生活課
町の施設、特にあゆり温泉を早く再開して欲しい。	あゆり温泉は、震災で被災した施設や設備等を復旧するため、現地調査と復旧工事にかかる設計を完了し、復旧工事の発注を行っており、11月中には営業を再開する予定です。	保健福祉課
40 災害普及に対しては町・県・区で進めるので、出来る限り指導等して頂きたい。	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの経費が必要となりますが、多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めま	企画経営課
41 町道だけでも早く直して、子供達の通学路などは特に早くして欲しいです。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
まだまだ、家を壊したくても壊せない人がいます。来年いっぱいくらいゴミ捨て場(営林署)に持って行けるようにして欲しいという話が出ています。	当初、9月までであったガレキ処理事業の期限を延長し、現在、来年3月までの実施が確定しています。来年4月以降の解体工事等についての対応を検討中です。	町民生活課
家を建てかえるのに、何か町独自の低ローンなど作ってはどうか。	災害弔慰金の支給等に関する法律による災害援護資金の貸付制度があり、対象要件に該当すれば、一定の資金の貸付が受けられます。また、民間の金融機関においても、5年間無利子のものや低金利の融資制度があるため、被災された方に当該貸付や融資制度の比較をしながらをご案内しております。	企画経営課
42 交通量の多い道路が優先だとは思いますが、大畑地区の交差点を早く復旧して欲しいです。	10月中旬から来年2月にかけて災害復旧工事を実施します。	都市建設課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
43 余りに多くの災害で復旧もままならないと思います。危険度の高い所、住民が不便を感じる道路、	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
一人暮らし、お年寄りの世帯の住宅等の点検(訪問して)	住宅等の点検は、高い専門性を必要とし、また住宅は個人の財産であるため、容易に点検を行うことが出来ないと考えます。 個人住宅を対象とした福島県木造耐震診断事業等の活用により支援します。 日常生活の面については、矢吹町まちづくり総合計画に位置付けられた「高齢者等の日常安全安心推進事業」等により、訪問活動を行っています。震災時の対応について検証を行い、総合計画後期計画の見直しに反映します。	保健福祉課
44 復興に対して細かく情報を出して欲しい。	災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。	企画経営課
45 農道町道県道の復旧工事を優先的に着工する。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。	都市建設課
住まいを失った方々が安心して生活できる仮設住宅を	震災後、速やかに県と協議を行い建設予定地を選定し、仮設住宅3地区、85戸を建設しました。	都市建設課
風評被害を一日も早く解消する対策	加害者責任で十分の保証をする事は当然ではありますが、町としても風評被害を防止・払しょくするためあらゆる機会を通してキャンペーンに努めております。復興計画に風評被害対策を位置づけ、継続的な取り組みを行います。	産業振興課
区長会を最大限に活用する。	震災対応の検証や先進地視察等を実施し、区長会活動のあり方を検討します。	総務課

No.6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
被災者自ら復興する精神を持つ	復旧、被災者生活再建支援はできる限り早い対応が必要と考えており、今後もできる限り早く対応できるよう努めます。今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。	企画経営課
46 放射性物質の除染が最大の課題になると思います。一般的にムードとして広がってる除染の対象が現実と大きくズレている事が一番の問題だと思います。通学路の除染はおそらく拍子抜けみたいになると思います。児童の通路はもちろんですが、むしろ家庭の除染が認識されていない状況が心配です。	東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶことも見込まれることから町民の皆さんが安心して暮らせるよう放射性物質の汚染のない安全な社会環境を目指し、正確な情報の共有の下に除染などの対策を講じます。「放射線低減化活動の推進」を復興計画に位置付けます。私有地における放射線量の把握が出来るよう、町では、貸出用測定器を用意しました。更なる活用を図るため、広報を行います。	町民生活課
今後、各区へ線量計がくれば認識されると思います。	現在15歳以下の子どもたちへ個人線量計を配布し、実態が把握できるようにしています。また、生活再建支援室において放射線量測定器の貸し出しを行っていますので、ご活用ください。	保健福祉課
47 細部の被災箇所等の確認、復旧箇所の優先について、地元との話し合いが必要と思う。	被災からの復旧については、施設の所管ごとに確認し、緊急性、重要性等勘案し、優先順位を判断し取り組んでいますが、地域に密着した施設であったり、利用頻度の確認が必要な場合などは、地域あるいは関係者などの意見を伺いながら進めてまいります。	企画経営課
48 道路と歩道の復旧、特に下水道マンホール近くの整備を早急に進めること。(子供達の通学に不測の事故が考えられる)	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。下水道マンホールに係る復旧工事については、国の事前審査が完了した段階ですので、早急に整備出来るよう、下水道本管工事の進捗管理に努めます。	都市建設課 上下水道課
49 町民の方々に現在、このような事業に取り組んでいる様子を示してもらいたい。そうでないと今何をしているのか？わからないです。又、町事業として除染と大々的に行ってほしい。	災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきやホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。放射線量低減のための除線作業は今後の大きな課題となり、9月25日には多くの町民の皆さんの参加をいただき全町的な作業を実施しました。細密な放射線測定を行い、的確な除線活動を継続的に実施します。	企画経営課

No.	6.災害復旧の進め方への要望	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
50	<p>ころばぬ先の杖であるその時に……被害は大きくなる多大な雨台風震災が来たときを考えれば備えあれば憂いなしと昔からの諺の通りです昔の人は先を知るそうすれば人が一生しかない命をなくさなくてすみます福島も原発がなければと怒る人が多い事二言目には</p>	<p>地域防災計画の見直しにおいて、住民意見の反映に努めます。</p>	<p>町民生活課</p>
51	<p>子どもたちの事を一番に考えて放射能を取り除くことに全力を傾けて欲しい。</p> <hr/> <p>テレビ等、マスコミ放送は浜通りや宮城、岩手ばかりを放送しているが、矢吹町、鏡石町等の被害は甚大と思われる。大々的にアピールし、東電の補償等も申告してもと考えるが…(農作物等)</p>	<p>現在までに、現在15歳以下の子どもたちへ個人線量計を配布し、実態が把握できるようにしています。今後の健康管理についても検討しています。また、幼稚園や小学校、中学校、通学路の除染作業を実施しました。今後も継続した放射線量低減事業を行います。</p> <p>震災による本町の被害は、沿岸地域のような津波被害はないものの、公共施設、家屋等の被害は甚大であり、それに見合った補助金、特別交付税等の国の予算措置、また、原子力災害に係る補償等についても被災者支援に努め、確実に受けられるよう国等へ強く要望してまいります。</p>	<p>町民生活課</p> <hr/> <p>企画経営課</p>

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
1	災害に強いまちの実施には、絶好の機会です。PLAN-DO-CHECKをしようにもこれまではこの様な災害にあったことがなかったので、できなかった。今回は、その意味で大変わかり易いCHECKができることになりましたので、この際ですから、全部・・となっていることを出し、整理すると災害に強いより具体性の高い計画が出来上がると思います。	今回の震災を踏まえ、地域防災計画について検証し、見直しを行います。 安全で安心なまちづくりを進めることは、まちづくり総合計画にも重要な政策と位置づけており、今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえそれらに反映します。	町民生活課 企画経営課
2	言うだけ、見ているだけではなく、町民すべてが、この復興に向け協力しなければならぬと思います。この勢いのない町を活気のある町へできる様、当団体としても協力していきますのでよろしくお願い致します。	支えあいのまちづくり、協働のまちづくりは、まちづくり総合計画に重要な考え方としており、今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえそれらに反映します。	町民生活課 企画経営課
3	水道管、下水道管の接手の部が外れない部品が開発されていると聞く、そうした新しい機能を持ったものに変えてゆくことも今後行ってゆくべきだと思う。	これから、上下水道工事を実施する際、耐震性のある部材を使用することになっておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	上下水道課
4	しっかりとした計画で策定していただき住民に説明理解を得たうえでの「災害に強いまちづくり」「震災前以上の復興」をぜひ目指してほしいと思います。	まちづくり総合計画後期基本計画、矢吹町地域防災計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえ、災害に強いまちづくり、震災以上の復興を目指した計画内容とします。	町民生活課 企画経営課
5	矢吹町中心地の道路の拡幅、空地の活用、	町の中心部の道路整備につきましては、都市計画道路としての位置付けになっており、路線に応じて、全幅員8m～11mの規制(セットバック)になっており、今後は、都市計画道路の見直し、更には、空地の利用も含め、都市計画(まちづくり)についての見直しを行ってまいります。	都市建設課
	住む人に優しい町づくりなどこの機会に取り組んでほしい。	安全で安心なまちづくりは、矢吹町まちづくり総合計画にも位置付けられています。今回の震災の経験をもとに住民にやさしい町づくりについても検討し、総合計画後期計画の見直しに反映します。公共施設のユニバーサルデザイン、バリアフリー化の推進に取り組みます。	保健福祉課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
6	<p>原発事故や岩手県の防波堤の例を見て、地震の規模の想定をどれくらいに見るかが成否を大きく左右すると思われます。対策にお金がかかっても規模の想定は大き目に採るのが大事かと思われます。</p>	<p>今回の災害はかつて経験したことのないものであり、大きな教訓と課題を残しました。災害が発生した場合には、被害を最小限に抑えるために応急対応基準、体制等のソフト面と耐震性等のハード面の整備が必要です。地域防災計画を始めとする防災に関する計画等の見直しにより防災機能、防災基盤の強化を図ります。土地利用、都市計画等の全体的な町土利用についても災害に強いまちづくりの視点からの見直し、検討を進めます。</p>	町民生活課
7	<p>災害のない町と皆が思い込んでいたためか、避難場所について町民がわかっていなかった節があります。今回を機に徹底してはどうでしょうか。</p>	<p>今回の震災を踏まえて、今後予期される災害を改めて検証します。矢吹地域防災計画の見直しを行うとともに、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、防災計画の概要版の作成・配布を検討します。</p>	町民生活課
	<p>今回の震災では避難所そのものが危険場所(建物)となってしまった所もありますので、公共施設の耐震化を進めてください。</p>	<p>矢吹町耐震改修促進計画に基づき公共施設の耐震化に努めます。今回の震災では地盤自体が被災しているケースもあり、地盤調査も含め検討してまいります。</p> <p>耐震化に関しては、安全性能・耐久性能を図り、緊急の災害時に公共施設を地域住民が避難所として利用することも考慮し、十分な安全性を確保するよう計画・設計します。</p> <p>教育施設については、学校体育館等は構造体としての耐震化は終了していましたが、天井や付帯設備等が被災した施設がありましたので、早期に復旧するとともにより一層の耐震化を検討します。</p>	総務課 保健福祉課 学校教育課 生涯学習課
	<p>今回のような断水時に井戸水の積極的な利用なども考えてはいかがでしょうか。ただし、飲料水に適しているかどうかの事前確認なども必要ですが、工夫をすれば緊急時には大いに役立つものと考えます。</p>	<p>緊急時の飲料水として井戸水の利用は大いに役立つものと、今回の災害を通して痛感いたしました。通年での管理が必要であり、自治会等の協力が必要と思われるので、今後の復興計画の中で検討してまいります。</p>	上下水道課
	<p>民児協として困ったことは、委員同士、事務局との連絡でした。リレー方式で地域ごとに行くことなども実行することにしましたが、何か良い方法があればと思います。</p>	<p>民生児童委員協議会の中で、今回のような電話が使えないような災害の連絡方法として、地域ごとにリレー方式で確認する連絡網を作り対応することとしましたが、町としても防災無線の利活用や、連絡網の周知に努めてまいります。</p>	保健福祉課
	<p>放射能についての不安が若い人達に強いようですので、特に若いお母さん方に具体的に、分かりやすく説明の機会を設けてはいかがでしょうか。とにかく分かり難いのが現状です。</p>	<p>現在は緊急事態期の暫定基準を基に政策決定がなされ収束状況に応じて基準が見直されておりますのでその都度正しい情報発信に努めてまいります。</p>	保健福祉課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
8	<p>8 確実な情報と早い行動</p>	<p>災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。</p> <p>緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検</p>	<p>企画経営課 町民生活課</p>
9	<p>9 町民が自ら考えるよう誘導</p>	<p>支えあいのまちづくり、協働のまちづくりは、まちづくり総合計画に重要な考え方としており、今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえそれらに反映します。</p>	<p>企画経営課 町民生活課</p>
10	<p>10 町を挙げての防災訓練 防災計画(マニュアル)等の周知強化</p> <hr/> <p>積極的な情報発信、PR活動</p> <hr/> <p>企業、起業誘致など</p>	<p>実施について検討します。</p> <p>今回の災害の検証を行い、矢吹町地域防災計画の見直しを行うとともに、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、防災計画の概要版の作成・配布を検討します。</p> <p>災害復旧、被災者生活再建支援等については、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、広報やぶきや町ホームページ等を活用するとともに、震災以降は新聞折込チラシを作成するなど媒体の拡大を図ってきましたが、さらに的確な情報提供に努めます。</p> <p>町では企業誘致計画書に基づき、積極的な企業誘致を推進しております。また、新たな県営工業団地構想を実現すべく推進して参ります。</p>	<p>町民生活課 町民生活課</p> <hr/> <p>企画経営課</p> <hr/> <p>産業振興課</p>
11	<p>11 農業人口が多いので、即生活に困窮する割合は少ないが、将来的に増加すると思われる。完全給与生活者の長期に亘る雇用を確保するための復興公共事業(失業対策)を予め準備する。</p>	<p>町では雇用環境の是正や身近場所での職業あっせんする機能として無料職業紹介所を開設しております。復旧事業等に際し被災者を主に雇用確保に努めます。</p>	<p>産業振興課</p>

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
12	「安全・安心に暮らせる」町づくりを基本 住宅環境の整備(耐震補強の補助金、省エネ、省資源への補助…)	現在、町では耐震対策の一環として、木造住宅の耐震診断を行っております。住宅の耐震補強に対する補助事業につきましては、耐震診断を完了した建物に対する補助が基本と考えておりますが、現段階では耐震診断の申し込みも少ない状況にあるため、今後は他町村の状況等も調査し検討して参ります。 再生可能自然エネルギー利用推進については、矢吹町まちづくり総合計画に位置付け、平成23年より「住宅用太陽光発電システム導入促進事業」、「家庭用生ごみ処理機の購入補助事業」等を実施しております。ゴミの削減、リサイクルの推進等の広報活動も継続して行います。	都市建設課 町民生活課
	農工商発展の為の将来像立案と計画	矢吹町まちづくり計画に位置付けた農商工業の活性化施策を展開しております。今後、震災以前以上の復興を目指し、農商工業の発展について復興計画および矢吹町まちづくり総合計画後期計画の見直しに反映し、長期的な取り組みを行います。	産業振興課
13	町民一人一人の自覚、備えを促す。	今後も町全体で支えあいの精神で復興に取り組みたいと考えていますのでよろしくお願ひします。完全な復旧と震災以前以上のまちづくりを進めるためには多くの町民の皆さんの協力をいただきながら緊急性、重要性等勘案し、計画的な事業実施を進めます。なお、今後の具体的な取組みは、町民の皆さんの意見を伺いながら復興計画を策定し、その計画を共有の下、町全体で復興に取り組みます。 また、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、矢吹町地域防災計画の概要版の作成・配布を検討します。	企画経営課 町民生活課
14	水田等が沈下していたり、農道、ため池の整備をお願いします。	町では東日本大震災や台風の被災が未曾有の状態ではありますが、一日も早い復旧に努めます。	産業振興課
15	○災害に強い町づくり ・消防団の強化により、災害時の迅速な行動をとれるようにする。 ・災害時は、対応が十分にできないことを考えると住民のモラルに頼る部分大きい。したがって、地域の輪が計られるような仕組みが欲しい。	東日本大震災の応急対応・応急復旧について検証し、非常備消防団の活動・訓練強化を図ります。 震災直後の避難、応急対応では、家族、近隣、行政区などの身近な場面での「支えあい」が強い力と効果を表す事が実証されました。行政区活動との協働による活動を推進し、地域コミュニティの復活や拡充のもと地域防災体制の再構築を図ります。	町民生活課 総務課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	<p>○震災前以上の復興 ・子どもの教育の強化</p>	<p>特色ある子ども教育推進事業、学力向上対策事業等の推進により教育の強化を図ります。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>・矢吹町は、首都圏より車で2時間程度という好立地を生かす町づくりをして欲しい。</p>	<p>東日本大震災からの復興に向けて、矢吹の恵まれた交通環境を生かした町づくりは大変重要であります。交通アクセスの利便性等をアピールし、企業誘致や観光(グルメ)誘客等を図ります。また、農業体験等を通じた交流を深め、移住や定期来町を促進します。 今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえ、震災以前以上の活力あるまちづくりを進めるために高速交通体系の優位性をどのように復興につなげることができるのか検討し復興計画に位置づけてまいります。</p>	<p>企画経営課 産業振興課</p>
16	<p>今回のような災害では、電話、携帯電話が不通になり、町民への情報伝達方法は、防災行政無線になるかと思えます。防災行政無線については、場所によって聞き取りにくいので、希望者(又は全戸。一部負担をして頂く。)に対し、子機を設置することはできないか。非常時には情報伝達手段として役立つと思う。</p>	<p>緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。</p>	<p>町民生活課</p>
17	<p>建築的なものも必要ですが、これから矢吹町を担っていく子供たちに、何を身につけていくか?「人間力」を学べる機会があると良いと思えます。</p>	<p>各学校とも道德の時間を中心に心の教育を実施しております。より一層「人間力」の育成に取り組んでいきます。また、公民館講座の活動を通して「人間力」を学ぶ一役を担えればと思えます。</p>	<p>学校教育課 生涯学習課</p>
18	<p>災害情報をスピーディーに伝えて欲しい。停電等でも情報伝達が可能なシステムを。今のスピーカーでは聞こえない。(室内に居ると・・・)</p>	<p>緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。</p>	<p>町民生活課</p>
19	<p>・大災害時には自分で自分の身を守るしかありません。町の力にも限界がありますので、町民には「自分で何とかする」という意識を育てる必要があります。また、一人暮らしの老人などどうにもできない方々には近所で助けられる仕組みを作るなどが必要です。</p>	<p>高齢者に対しても、民生委員の方の協力を頂き訪問活動を行うなど各種の支援を行っています。震災時においては、消防団の協力も要請し、一人暮らし高齢者に対して支援を行える体制の整備を進めておりますが、東日本大震災時の検証を行い、矢吹町まちづくり計画を見直します。介護認定を受けている方については各事業所のケアマネージャーが訪問し、状況確認や支援を行っています。 今回の震災の検証を十分に行い、緊急時の対応体制の整備に努めます。</p>	<p>保健福祉課</p>

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	水や食料は自分で蓄えておくなどの啓発活動やキャンプ実習など楽しみながらトレーニング出来る仕組みがあればよいと思います。	各家庭用・防災グッズの備え付け奨励をPRします。	町民生活課
20	通学路を中心に、子供たちが安心・安全に通学できるようなまちづくりをしてほしいと思います。 災害時の避難場所のマップ作成配布中。	随時学校等と連携し通学路の状況を把握し安全な通学路の確保に努めます。 ご尽力ありがとうございます。町としても避難場所の周知に努めます。	学校教育課 町民生活課
21	空き店舗や倒壊後、使用目的の決まっていない土地に、憩いの場ともなり、災害時の一時避難場所、家族の待ち合わせの場となるような公園広場を建設するというのはどうでしょう。 清潔なトイレ、救命具等、緊急時、災害時に役立つものの格納庫を兼ねたベンチや遊具を設置するのはどうでしょう。	今回の震災により建物を取り壊し、空地となっている箇所が増えてきているのが現状です。この空地のみならず町全体の土地利用について検討することは急務であると考えており、ポケットパーク的な公園も含め、都市計画(まちづくり)についての検討・見直しを行ってまいります。 矢吹中学校に防災倉庫設置をしました。今回の震災の経験を踏まえ、災害発生等緊急時に備えた備蓄等について検討を行い、地域防災計画に反映させ、計画に準じた整備を行ってまいります。	都市建設課 町民生活課
22	防災無線が何をメッセージしているか聞き取れない。町全体で正確に聞き取れる割合はどのくらいか有効性を把握しているのでしょうか？ インターネットをもう少し利用してはどうでしょうか？	現在までに、町民の皆さんから寄せられた意見により、放送方法の改善や放送回数を増やす等の対応をとってまいりました。今後、各行政区に協力を依頼するなど、難聴地区の正確な把握に努めます。今後発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。 情報の高度化に伴い、インターネットは重要な情報発信ツールとなっています。行政情報の提供や緊急情報伝達のため、双方向通信の有用性の検討等を進め、より効果的なホームページの運用を図ります。	町民生活課 企画経営課
23	自然災害とは全く縁が無い土地柄と思っていましたが、地震は別ものでした。ハード面については、専門の方にお任せするとしまして、ソフト面について述べさせていただきます。 地域のコミュニティの確立が必要だと思います。町内会、隣組の復活です。現在もあることはあるのですがほとんど形骸化され、回覧板が廻ってくるのが精々です。本来、自治組織というものはそこに住む住人によって自発的に生まれてくるものだと思いますが、個人のプライバシーが叫ばれ、少子化高齢化の昨今では非常に難しくなってきました。そこで行政の力が必要だと思います。町内会、隣組のPRや、月一回程度の集会の提案、ある程度の資金援助もあるかと思います。「ご近所の力」を見直す時がきたのではないのでしょうか。お隣どうし、ご近所みなさんが集まり、たまには酒を酌み交わし、子供のことや世間話し、お互いの無事、健康を確認できれば、そこから本当の「絆」が生まれるものだと思います。	支えあいのまちづくり、協働のまちづくりは、まちづくり総合計画に重要な考え方としており、今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえそれらに反映します。 昨年度から実施している行政区活動支援事業やこのたびの震災対応の反省をもとに地域コミュニティの拡充を図るため、行政区活動として先進地視察研修等を実施します。また、行政の立場から行える支援について検討します。	企画経営課 総務課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	散乱するゴミの集積場、ポイ捨てで汚い道路、雑草とゴミだらけの公園等を見る度に思っていました。一人ひとりが気をつければ済むことなのですが、その手段として先ずそこに住む人達が集まることだと思います。そして、この「ご近所の力」こそいざ何事があった時に大いに役立つと思います。繰り返しになりますが、その為には最初がどうしても行政の力が必要になると思います。	町では「全町クリーンアップ作戦」を開催し、町民の方々へ協力を呼びかけて参りました。PR強化により、参加者の増加を図るとともに、ボランティアネットワークの確立等、町民の皆さんがボランティア活動や地域活動に参加しやすい体制の整備に努めます。	町民生活課
24	文化財、公文書の保管施設(耐震、耐火、耐湿、耐温)を設置して保存に努めて欲しい。 判明した弱点を補強する工事・施策を考慮して欲しい。 まちづくりのイメージを多くの町民は持っていないのではないか。(描けない。未来が見えない)	現在実施している文化財、文書庫の保管については書類などを整理整頓して保存に努めていきます。また施設については補修に努めます。 まちづくりのイメージが描けるよう、具体的なまちづくり総合計画、実効性のある復興計画の策定に努めます。パブリックコメント制度を活用し、町民の方の意見をそれらに反映します。	生涯学習課 企画経営課
25	①建物の耐震診断の実施 ②万が一、火災等が起こった時に防御できる区画、道路巾を広くし、エリアごとに区画していく。 ③避難所と指定している建物の耐震化等、ハード面を充実する必要があるのではないか。	①平成18年から「住宅耐震改修促進事業」に取り組んでおり、毎年数件の耐震診断の支援を行っております。 ②現在災害用としての道路整備計画等はありませんが、建築基準法の規定により、一定の道路幅員がない場合は建設に制限を設けています。今後、東日本大震災の検証を踏まえ、都市計画の見直しに反映します。 ③避難所として指定されている小中学校・幼稚園につきましては、全て耐震補強工事が完了しておりますが、この他の公共施設・地区集会所等につきましては、実施しておりません。今後は所管する各管理者により建物の現状を確認した上で耐震改修の必要性の有無について判断し、耐震化を図って参ります。	都市建設課
26	突然の災害ですべて経費がかかることなので大変と思います。私達は町で行っている災害復興を広報に載っているのを見えています。これらを町民の方々が理解し、各区でもその区で奉仕できるようなことをお願いしてはどうでしょうか？例、春の町内一斉清掃等(クリーン作戦)	支えあいのまちづくり、協働のまちづくりは、まちづくり総合計画で重要な考え方としております。町民の皆さんがボランティアや地域活動に参加しやすいよう、ボランティアネットワークの確立や地域組織の形成の支援に取り組みます。これらについて、復興計画へ反映します。	町民生活課
27	今回の震災の時、防災無線が聞き取れなかったのが、希望者に屋内防災放送があったらもう少し早く対応できたと思います。	緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。	町民生活課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	<p>今回寺内は、区長さんが一軒一軒回ってくれて、スムーズに避難出来たのと、部落内なので皆さん安心出来たという事があったので、公民館が避難場所としては良かったので、出来たら体育館ではなく、公民館を充実させて頂けたら(避難所として)子供達まで巻き込まず、炊き出しなども早く自立出来ると思います。</p>	<p>東日本大震災の経験により、震災発生時における行政区活動の重要性が実証されました。このたびの震災で安全性が確保できた集会所等を第1次避難所として位置付けるなどの施策を講じていきます。</p> <p>安全性の確保を最優先に考えるとともに、避難者に対し十分な支援をするために集約化を図りましたが、今後については応急対応時の体制について検討し、地域防災計画や復興計画に反映します。また、ライフラインの状況、避難民の規模等にあわせて柔軟に対応できるよう体制整備に努め</p>	<p>総務課 保健福祉課</p>
28	<p>消防団の強化(予算を含む)。震災後二週間の消防団の活動を思い出せばわかると思います。</p>	<p>災害発生時に消防団の皆さんのご協力無しに復旧活動は行えませんでした。大変ありがとうございました。消防団の運営について検証し、対応力向上を目指した支援を行います。</p>	<p>町民生活課</p>
29	<p>短期間にやること長期間にやることに分けて一つ一つ確実に実行することです。 ①短期として先ずは放射線量を除去すること。 ・町民が安心して矢吹町に住むことが出来ることを知らせる。 ・住民の確保～建築への補助。</p>	<p>放射線量低減化事業の第一段階として、9月25日に「放射線低減クリーンアップ作戦」を実施しました。放射線除去作業の結果を公表するとともに、放射線量低減化事業を復興計画に位置付け、継続的な取り組みを行います。</p>	<p>町民生活課</p>
	<p>・雇用の促進</p>	<p>現在、震災により住宅が被災した世帯に対し、「被災者生活再建支援制度(支援金)による支援」と「災害救助法に基づく住宅の応急修理制度」による住宅に対する支援を行っており、今後、更に一部損壊住宅に対する助成も実施する予定になっております。</p> <p>町では、無料職業紹介所の機能を充実させるとともに、求人への掘り起こしに努めております。農商工業の活性化、雇用の確保については、復興計画に位置付け、震災以前以上の復興に向けた取り組みを実施します。</p>	<p>都市建設課</p>
	<p>②長期として<福祉事業>を中心とする町づくりはどうでしょうか?とこころに福祉センターとなる施設を設け、周辺に関係事業所を作り矢吹町での自給自足の事業ができるように。</p>	<p>福祉施設を中心とした分散型の整備は財政等の面から困難が見込まれます。行政の支所など複合的機能を持つ整備の検討が課題と考えます。</p>	<p>保健福祉課</p>
30	<p>・今回の震災により防災計画の見通しがされると思いますが、町民が具体的に動ける計画になるようにする必要があります。 ※私自身が関心が薄いかもしれませんが</p>	<p>今回の震災を踏まえて矢吹地域防災計画を検証し、見直しを行うとともに、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、防災計画の概要版の作成・配布を検討します。</p>	<p>町民生活課</p>

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
31	<p>1. 防災マニュアルの見直しと地震、風水害、火災、その他予期せぬ事象等に分けたマニュアルに改編し訓練すべき。 * 但し、最終的に行動で結果が立証されなければ、絵に描いた餅になるので職員の訓練等で鍛錬頂きたい。</p> <p>2. 東北本線横断道の新設(国道4号北町付近～産業道路間を跨線橋による横断道の新設) ①矢吹駅より郡山方面への踏切で車両が利用できる主要町道は2本だけが、いずれも大型車の通行には不向きであり乗用車の相互通行すら厳しい現状にある。 加えて、今回の震災規模で現在の跨線橋が部分損壊した場合、大型重車両の通行は困難となり、復旧等に係る物資や復旧資材輸送に甚大な影響が出ることは明白である。これらを踏まえ当町には少なくとも2本の跨線橋が必要と考えるが如何か * 国道4号北町付近～産業道路へ直接接続できる道路の新設により、丸の内工業団地へ40フィートトレーラーが容易に進入移動できるようにする事で通行車両の流れを変え事業投資や付近の住宅開発を促進される可能性を秘めている。</p> <p>3. 国道4号線の片道2車線化の促進 ①今回の震災で、多くの車両渋滞を起こした国道4号は、福島氏以南鏡石付近まで片道2車線化されているが、当町内の片道2車線化はいつ頃なのか、大きな災害時のスムーズな車両移動の重要性が今回の震災で証明されているはず。また、震災による道路陥没や電柱倒壊があると、道幅が狭い現況では完全に通行不能となる恐れあり、高速道も閉鎖されると迂回路も遠く、大型車両の通行は容易ではなくなる。(是非、町の力で早期実現を！)</p> <p>4. 予備揚水場の確保 ①掘川ダムからの送水距離を考え、万一の場合の上水道の配管破断は、場所の調査～確定～復旧に時間がかかり生活困窮の極みに至る事から、これら、万一の場合を考慮し、予備揚水場があるならば今後堅持すべきである。(予備水源が破断しても、距離が近い分復旧は早いと考えるが如何か…)</p> <p>5. 街なかの電話線や電線の地中埋設化による街なか整備 ①須賀川市に事例がある通り、街なか整備事業で電線の地中埋設を行い、圧迫感の無い道路や歩道が出来て景観改善による新生矢吹宿野まちなみ作りにも寄与できる。 また、震災等による電柱倒壊～道路遮断、通行車両への被害や隣接家屋の被害、歩行者の感電防止等の観点からも近埋設は防災メリットが大きい。(二区大屋台も昔の大きさに復元し、街なか運行も出来る！～昔新町通りまで行ったことがある)</p>	<p>今回の震災を踏まえて、今後予期される災害を改めて検証します。より実効性のあるマニュアルとなるよう、検討を進めます。また、作成した防災マニュアルについては、周知が図られるよう広報活動に努めます。</p> <p>矢吹駅より郡山方向への東北本線の横断道路については、本町地内の小池踏切のアンダーパスの道路計画がありましたが、現在事業休止状態にあります。町としても北町・本町から東北本線を何らかの形で横断する道路は重要な路線と考えており今後実現にむけて検討して参ります。</p> <p>一般国道4号4車線整備促進期成同盟会と連携して、国道4号4車線化の事業着手について国へ強く要望してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。五本松配水池から遠距離になるほど復旧に時間がかかってしまいます。予備水源を利用し、災害時飲料水の確保に努めたい。さらには、災害時貯水槽につきまして復興計画の中で検討したいと考えております。</p> <p>電線等の地中化については、町並み・景観・災害対策などの観点から重要な施策であります。 費用・工事期間・経緯など近隣市町村の状況を調査し、検討して参ります。</p>	<p>町民生活課</p> <p>都市建設課</p> <p>都市建設課</p> <p>上下水道課</p> <p>都市建設課</p>

<p>No. 7.町の復興への取り組みについての要望・意見</p> <p>6. 地域情報の伝達手段の改善</p> <p>①町役場→町民のためのミニFM放送の開局は可能か(商工会・NPO等と協議出来ないか)</p> <p>* 震災直後の防災無線不調エリア→本町北区、北町中区、北町下区、滝八幡町区、井戸尻地内であった。肝心な時に機能しなかった防災無線では設置の意味をなさない上に、他に町内情報を得る手段が無かった。また現在でも、防災放送が聞きにくいといった苦情や聞こえないエリアもあることから、これを機にミニFMの開局を検討していただきたい。</p> <p>* 通常は、街なか情報や町役場の情報など地域情報と受診者との放送交流を行い、費用の観点から放送時間限定で発信していて、緊急時は防災放送として活用すれば、無線放送なので不特定多数の方々がカーラジオ等で受信利</p> <p>* 震災当初、TVに震度情報が流れず、またテロップ情報も他の町村で流れていても当町は流れなかったことから、苦言を呈したが、これら重大災害時の町民への情報提供のあり方については検討すべきである。</p>	<p>町の考え方、反映の可否、反映の内容</p> <p>緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。</p> <p>情報の提供の仕方についてもインターネットの活用、民間機関との連携等検討を行います。今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。</p>	<p>担当課</p> <p>町民生活課</p>
<p>②衛星通信の確立</p> <p>通信手段が壊滅したときに唯一の伝達手段は、衛星回線を利用した通信と聞いているが、主要個所に設置しては如何か</p>	<p>ご意見のとおり、今回の震災により役場の電話回線が不通となり復旧までしばらくの期間を要し、その間は急遽衛星電話を確保し対応しました。今後の防災対策として衛星電話を常備するよう検討を進めます。</p>	<p>企画経営課</p>
<p>(震災前以上の復興)</p> <p>1. 誘致企業向けの交通網の優位性のPRや移住促進事業の展開</p> <p>震災後より、残留放射線量の方が問題となった現在、企業誘致も困難な状況下にあるだろうが、人口減少や町並み崩壊の兆しの中、人口増加策の為特化政策は必要。</p> <p>国道4号、東北本線矢吹駅東北自動車道やトラハイ矢吹IC、福島空港や新幹線の白河や郡山駅への距離と時間等、交通の要害にある当町の利便性をもっとPRすべきで、県内市町村と比較してもそのPR度は弱く、無いように力を感じない。(新白河駅観光案内所のパンフレットやリーフレットを見ているが矢吹だけない。役場で頂くパンフレットも発信力が弱い)</p>	<p>産業基盤の再生、発展については、震災により受けた被害が甚大であった矢吹町にとって、復興に向けた重要課題であります。当町特有の恵まれた交通環境を生かした商工業の活性化に取り組んでまいります。また、郊外型大型店舗と中心商店街との住み分け・差別化を含めた町づくりの構想を策定し、復興計画に反映します。</p> <p>また、有効性のあるPRが行えるよう、パンフレットの内容や設置個所の検討、ホームページの活用等に取り組まします。</p>	<p>産業振興課</p>
<p>2. 矢吹駅ホームの改善</p> <p>①町のシンボルの一つと考えるが少しはデザイン化されたホームや屋根を設け、乗降客に配慮した雨風を避けれる小屋を作ることとは不可能なのか、またJRとの交渉要求は出来ないのか(乗降する方々への気配りが感じられない寂れた駅舎だ)</p>	<p>ホームの改善については、JRの土地であるため、町独自の整備は出来かねます。現在までに、乗降エレベーター設置等の要請をJRへ行ってまいりましたが、利用者数の条件等が合わず設置に至っておりません。継続した要望活動を行ってまいります。</p>	<p>企画経営課</p>

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	<p>3. 特化事業の取り組み→観光地としての企画掘り起こし 全国に知られた特筆したものが「やぶき」に無いなら「今から創る」べきです。 (次世代へ残す考えで企画すべき！)</p> <p>* 震災復興祈願「100年の計プロジェクト…桜一万八千本植樹」の企画…→町民の全人口分の桜の木植樹は如何か？多くの方々が観光で訪れるふくしまですが、当町には皆無であり復興の狼煙をあげるならこの機会と考えるが如何か、当町も震災により多くの損害を被った上に、残留放射線量の問題でゆれ動いています。今後、農産物や商工業製品の販売や移動さえ厳しいチェックにあい、販売価格低下や取引量の落ち込みなど現実に対処していかなければならないと考えます。それなら、「やぶき」を売り込んで、シーズンだけでも観光バスが多数来町して頂けるような町であっても良いと考える。 「規模の大きい花園」は話題になれば農産物や特産品、飲食・宿泊関連などに大きなインパクトを与えられ、賑わいのある町になり相乗効果も期待できる。 (目標は福島の花見山や奈良県吉野の10万本のヤマザクラ)桜は植樹から3年目から開花するはず。***やりかたは企画次第です***但し、30年から50年の歳月が流れ、次世代の方々へのプレゼントとなるが…TV等で取り上げられれ ①植栽場所は、県管理の河川の土手や町内の公園及び町道わきの土手、高速道路の土手等で可能な所。(とにかく規模で勝負です。植樹距離や本数、そしていたるところにある状態を作る…イメージは慈母の春・花の里やぶき) ②桜の苗は、個人購入として植栽場所に寄贈者の名前を彫った標識を立てる(北塩原村で過去に実施している)(植樹可能な場所は個人的に植えて頂き、企画チラシやPR活動費(TVCM放送)を企画側負担では?)莫大な費用を掛けず、効果は時とともに現れる。 ③町内以外の賛同者にも可として、植樹数は多いほど宣告的にPRとなるので18000本にこだわらない活動。 ④特にトラハイ等の高速道路は雑木が生い茂っており、その代わりに植えて頂くわけには行かないのか？立入不可であるなら道路保全事業者委託として、震災と放射線汚染復興事業として申請する手立てを国会議員からみで動けたら幸い ⑤桜は、病気の少ないヤマザクラを主体として植えればその後の管理も容易です。</p>	<p>観光分野においては、活気があり人々が集う町並みづくりや観光事業について新たな視点も取り入れながら復興に取り組んでいきます。より効果的な事業について検討を進めます。</p> <p>復興へ向け町民の皆さんが一丸となり取り組む希望の気持ちを込めたメモリアル事業的なことは検討すべき内容と考えています。ご提案ありました内容については是非とも可能性の検討を進め、全町的に取り組むことについて区長会と協議を進められるよう努めます。</p>	<p>産業振興課</p> <p>企画経営課</p>
32	<p>震災に強い会館の新築(緊急、避難する場所)→ある程度のスペースがあればもっと良い。</p>	<p>矢吹町耐震改修促進計画(都市建設課所管)に基づき、施設整備に合わせた公共施設の耐震化に努めます。 耐震化に関しては、安全性能・耐久性能を図り、緊急の災害時に地域住民が利用することも考慮し、十分な安全性を確保するよう計画・設計します。</p>	<p>総務課 保健福祉課</p>

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
33	自治体、自治会、消防団、警察と連携必要。今後大きな災害に耐えられる、ライフラインの建設(安心、安全な町づくり)	今回の震災対応について十分な検証を行い、災害発生時における応急対応体制について見直しを行い、地域防災計画の見直しに反映させます。 大きな災害に耐えられるライフラインの建設についても、復興計画に位置付け、整備を進めます。	町民生活課
34	ゲリラ豪雨による、床上浸水、洪水が心配であり、雨量による被害想定マップの作成、配布、避難場所の明示、標識。	今回の震災を踏まえて矢吹地域防災計画を検証し、見直しを行うとともに、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、防災マップや防災計画の概要版の作成・配布を検討します。	町民生活課
35	どこか思い切って、ミニ区画整理を立案し、これを実行し町民の総意を引き出してみたら。例えば郵便局の前から駅の方に、100mくらいの区画をモデル区間として整備する。道路は2車線、停車帯付き、歩道付き。	現在区画整理の計画はありませんが、矢吹町都市計画マスタープランの見直しを予定しており、この中で、用途地域・都市計画道路・地区計画等の見直しを行う予定です。	都市建設課
36	今月25日予定の全町「クリーン・・・」もいいが地区民に精神的に参っている人も多し中、「東京電力」の職員にも力を注いでもらうのが筋だと考える。少しでも「東電」から財源の確保をするように切望する。 ◎地区、特に大和久東にお金の面で負担をかけないことを約束して欲しい。 ※もうこれ以上地区民に負担をかけない行政、町政を願いたい。	原子力災害に対する十分な補償が実施されるよう、窓口を一本化し、住民の支援要求に応じていく体制を整備します。また、確実な損害賠償が行われるよう国及び東京電力に対して強い要望活動を継続します。これらについては、復興計画に反映します。 各地区の消防施設については、行政区の管理下であり、改修費用も全額負担となっております。しかし、今回の東日本大震災の災害規模の大きさから、国費・町費の補助により行政区の負担の大幅な軽減を図っていますのでご理解をお願いいたします。	町民生活課
37	○必要な防災施設の整備と安全点検を徹底し防災町づくりを進めること。(室内防災無線の設置)(防火水槽の増設) ○観測体制の整備(震度計、放射能)を進め、消防や地域住民などを中心とした地域の防災力を強化すること。 ○災害が発生して場合には、すべての被災者を対象とした再建自立にむけた支援をおこなうこと。これからの住民参加での実現をめざすこと。 ○防災体制の強化を重点課題として進めること。	これらのご意見について、復興計画、矢吹町地域防災計画、矢吹町まちづくり総合計画等へ反映し、災害対応体制の整備に努めます。	町民生活課
38	今回の震災には関係無いが、新町、大池線の交通量が朝の通勤時には大変混雑するので、小針医院前の交叉点に右折車線を計画してほしい。	町の道路計画及び地域防災計画に基づき、計画的に道路改築を進めてまいります。	都市建設課
39	今回断水でひどい目にあつたので、上水道を地震に強いパイプにするとかの方法で断水しない予防をして欲しい。	今後において、可能な限り震災に強い水道管の布設に心がけ、断水を少なくする努力をしております。	上下水道課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	防災無線が聞きにくい為各家庭に何か連絡が取れる物を付けたらどうかと思う。	緊急時の情報伝達手段として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴である等の問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。	町民生活課
40	ライフラインの整備を。又道路は生活する中で大切です。「早い復旧、復興を」望みます。	交通量、危険性の度合いを考慮しながら、主に、幹線道路、通学路の路面補修工事を実施しております。災害規模の大きい箇所(国庫補助事業として工事を実施)につきましては、ため池等の他事業との工事重複箇所以外は概ね年度内完了を目標に災害復旧工事に努めてまいります。 水道・下水道のライフラインにおいても大変なご迷惑をおかけいたしました。今後、上水道においては老朽管の更新・バイパス管の整備に努めてまいります。また、下水道管においては、耐震化を考慮した整備に努めてまいります。	都市建設課 上下水道課
41	横の繋がりを強くすることが大事だと思います。消防団はもちろんの事、各地区の区長、各団体、会社、学校等、広範囲に繋がりを持つ事で、災害時に動きやすいと思います。	支えあいのまちづくり、協働のまちづくりは、まちづくり総合計画に重要な考え方としており、今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえそれらに反映します。非常備消防団の活動・訓練強化及び住民参加の避難訓練実施の検討等、矢吹防災計画の見直しを行い災害対応力の向上を図ります。	町民生活課
42	今回の震災は新しい家古い家に関係なく倒壊しました。多くの町民の方の意見を聞いてみた方が良いと思います。	復興計画の策定に向け、パブリックコメント制度の導入等町民の意見を広く取り入れる機会を設置します。	企画経営課
43	住民の意見を聞いて行うこと。	まちづくりの主役は住民の方々です。住民の意見が反映された復興計画、総合計画の策定を目指します。支えあいのまちづくり、協働のまちづくりは、まちづくり総合計画に重要な考え方としており、今年度予定するまちづくり総合計画後期基本計画の見直しと新たに策定する復興計画において今回の東日本大震災の十分な検証を踏まえそれらに反映します。	企画経営課
44	町中心地で空地が出来た所を町で借り上げ一戸建ての駐車場付の住宅を建て、例えば町企業の社宅等に貸す。	今回の震災により建物を取り壊し、空地となっている箇所が増えてきているのが現状です。この空地のみならず町全体の土地利用について検討することは急務であると考えており、都市計画(まちづくり)についての見直しを行ってまいります。	都市建設課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	矢吹交番を駅に移転する。	交番の設置・移転等については、県の権限により行われています。町民の皆さんの安全安心、利便性等を考慮し、県へ要望活動を行ってまいります。	町民生活課
	大池公園に屋外コンサート場を	現在、大池公園につきましては、「大池さくらまつり」「真夏の夜の鼓動」など各種イベントが開催されています。このイベントにおいては水上ステージを利用したコンサートも行われています。現段階では、屋外コンサート場の建設計画はありません。	都市建設課
	議員の定数を10人にする。	定数を10人にする計画はありませんが、現在、議会活性化調査特別委員会を設置し、その中で定数を含めた議会全体の在り方を検討しています。	議会事務局
	町三役の給与の制限	現在、町長20%、副町長及び教育長10%の給与カットをおこなっています。今後も給与の適正性について検討してまいります。	総務課
	町全体の美化運動	全町グリーンアップ作戦への住民参加を呼び掛けるなど、より多くの皆さんに環境美化への関心をもって頂けるよう事業に取り組みます。また、住民サポーター制度やボランティアネットワーク制度の確立等、町民の皆さまが地域活動に参加しやすい体制整備に努めます。	町民生活課
45	今回の震災において家屋の被害場所は埋立地等軟弱な地域が多く見られた。今後は宅地開発、住宅建設用地について、工法又は開発について一定の規制、条件整備が災害に強い町づくりの基本となる。	大規模な開発(3,000㎡以上)につきましては、都市計画法に基づく、開発行為の許可を受けることになっており、この手続きに際し、「構造・安定計算」「防災・安全施設」「災害危険区域は除外されているか」などの対策を行うことになっております。 しかし、個人の住宅用地などの小規模な建設用地につきましては、こういった規制がないため、建築確認申請の際に敷地の安全性について、設計者・建築業者等と相談しアドバイスを受けることが重要なことと考えており、町独自の規制等については現段階ではありません。	都市建設課
46	①避難場所の明確化 各行政区の避難所が町として明確に公示されていない。早急に公示すること。	今回の震災を踏まえて矢吹地域防災計画を検証し、見直しを行うとともに、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、防災マップや防災計画の概要版の作成・配布を検討します。	町民生活課

No.	7.町の復興への取り組みについての要望・意見	町の考え方、反映の可否、反映の内容	担当課
	特に自治会館等の耐震性のある建屋にすること。	矢吹町耐震改修促進計画に基づき、施設整備に合わせた公共施設の耐震化に努めます。 耐震化に関しては、安全性能・耐久性能を図り、緊急の災害時に地域住民が利用することも考慮し、十分な安全性を確保するよう計画・設計します。	総務課
	②矢吹町の食の安全性確保。良い悪いを明確化と公示すること。	町の農作物のサンプリング調査を実施し、情報公開に努めてまいりました。今後は、町への測定機器の導入を行い、個人栽培の野菜等についても測定が出来るよう、検討しています。 原子力災害への対応について復興計画に位置付け、長期的な取り組みを行います。	産業振興課
	③被害農地の復旧、産業の復興に努めると共に町全体が安心安全の街づくりのPRを図ること	農商工業の復旧、復興については復興計画の柱の一つであり、今後事業計画について検討を進めます。また、安心安全のまちづくりについては、風評被害の払拭はもとより、町民の皆さんの安心が得られるよう、放射線情報の提供、健康管理などに長期的に取り組めます。これらについて、広報活動に努めます。	産業振興課
47	※防災無線が聞こえなくて情報がぜんぜんわからないので、改修を行ってほしい(復興とは別ですが)	緊急時の情報伝達手段等として防災行政無線を整備しておりますが、地区によっては難聴であるなどの問題があるため、今後、発信機器の更新や個別受信機の導入、方法を検討してまいります。また、今回の震災応急対応・応急復旧を十分に検証し、地域防災計画へ反映させます。	町民生活課
48	資格の有る人に先頭になり危険と思う場所をある程度。100・200・300mm大雨が降った場合を考えてチェックして入梅前台風前とかに工事工入るとかして・ないておけば家や家族が最小限ですむようするとかそして被害を少なく一生しかなないとうい命を1人でも少なく助けなければならない昔の人は多勢で国のために懸命働いてきた	今回の震災を踏まえて矢吹地域防災計画を検証し、見直しを行うとともに、災害発生時の対応について町民の皆さんが把握できるよう、防災マップや防災計画の概要版の作成・配布を検討します。	町民生活課
49	町全体のライフラインが被災したときに早急に回復可能なシステムの構築。	今回の震災を踏まえて矢吹地域防災計画を検証し、見直しを行い、応急対応体制の整備に努めます。	町民生活課
50	平地の多い町、地盤の固い町と思っていたのにもろくも崩れた。3階建て以上のビルはいらない。埋め立てした宅地はいらない。	現在、建築基準法の規定により、用途地域内の第一種低層住居専用地域においては、建築物の高さの制限(10m)を行っております。 宅地が埋め立てか否かについては、町は判断しておりません。	都市建設課
	今回の震災の経験を踏まえ、水道が壊れない町。(何があっても水の供給は大丈夫)	堀川ダムの水源だけでなく、町の予備水源等の利用・災害時貯水槽の整備を計画し、さらに、老朽管の更新・バイパス管を整備し災害に強い施設の整備を目指します。	上下水道課